



# 高知 x 鳥取 まんが王国会議 in AKIBA

両県知事や人気声優たちが、クロス取材まんがレポートや生討論で、  
地元高知と鳥取を秋葉原でアピール！

名称： 高知 x 鳥取 まんが王国会議 in AKIBA  
日時： 2013年10月14日（月・祝） 11:00~17:00  
場所： 東京都秋葉原 ベルサール秋葉原  
主催： 高知県、鳥取県  
後援： 千代田区  
協力： NPO 法人 秋葉原観光推進協会



高知県と鳥取県は、どちらも「まんが王国」を名乗る県同士として3月、まんが王国友好通商条約を締結。相互協力の一環として、「高知 x 鳥取 まんが王国会議 in AKIBA」を、10月14日（月・祝）、東京都秋葉原のベルサール秋葉原で開催しました。

今回の「まんが王国会議」は、11時から次々とステージ上で様々なプログラムを実施。ご当地アイドル等によるパフォーマンスで盛り上がる他、両県にゆかりの声優たちによるトークステージでは集まった声優ファンから熱い声援が飛びました。

13時からは、両県それぞれ出身の漫画家が、お相手の県を取材してまんがで発表するというクロス取材まんがレポートを実施。また15時からは、両県知事に加えて、海洋堂の宮脇修一社長、水木しげる記念館の庄司行男館長、それに漫画家の里中満智子先生をゲストに迎えて生討論会！まんがに関わりのあるミュージアムの実績や、クリエイターの立場から県行政への期待などが飛び交いました。



高知県 尾崎知事「鳥取県と連携させてもらったことで、今日のイベントにも多くのお客さんに足を運んでもらうことができました。まんが王国を称する者同士、もっとタッグを組み、絆を深くしたいと感じました。友好通商条約の取組はまだ始まったばかりです。今後の戦略はまだ明かせませんが、これで終わりではないことは伝えたい。まんがの無限の可能性を考えると、様々な領域で活用できるはずですから。さらに価値観も共有できる秋葉原の皆さんとも、是非連携を深めたいと考えています。」

鳥取県 平井知事「アニメ「Free!」のグッズや作品に登場する「焼きサバ」のサバサンドに並ぶ行列を見て、秋葉原の熱気を感じました。「まんが」は、海外からも人を呼び込む力があります。今後は世界征服を目指して参ります。まだその戦略は明かせませんが（笑）。また地方には、自然や食べものなどの魅力がたくさんあります。でも「まんが」が加わることで、客層が広がることを実感しました。友好通商条約も締結したことで、高知県との連携をますます深め、地域おこしを進めていきたいと思っております」

高知県と鳥取県は、人材育成や産業振興、観光客誘致など、今後もまんがを切り口に様々な形で協力しあっていく予定です。ぜひご期待ください！

<メディアの方々のお問い合わせ先：「高知 x 鳥取 まんが王国会議 in AKIBA」>

株式会社フロンティア・エンタープライズ内 担当/熊谷

TEL. 03-5565-1121 FAX. 03-5565-1261

Mail : hisanaga@frontier-e.co.jp



## 声優トークステージや、ご当地アイドルパフォーマンスなども！

会場には高知県と鳥取県の魅力がいっぱい！知事が登壇したステージの他にも、高知県両県にゆかりのある人気声優のトークステージや、ご当地アイドルパフォーマンス、この日だけの特別物販なども行われました。



### 【クロス取材まんがレポート】

高知県出身のくさか里樹先生、鳥取県出身の寺西竜也先生が、お互いの県を取材してまんがで紹介！くさか先生は、今年で20周年を迎える水木しげるロードや、断崖絶壁に建つ三徳山投入堂を訪問。ラジウムの含有量が多い三朝温泉では、なんと五十肩が治ったとか（?!）。また寺西先生は、坂本龍馬で有名な桂浜、「フクちゃん」で有名な横山隆一記念まんが館を紹介しつつも、高知県民の素直で本音を隠せない高知県民の魅力に触れました。両県出身の声優・下田麻美さんと島本須美さんも応援に駆けつけました。



### 【「まんがによる地域活性化」昼から生討論】

高知県・鳥取県の両知事に加え、海洋堂宮脇修一社長、水木しげる記念館庄司行男館長、漫画家里中満智子先生をお迎えし、地域における漫画の可能性をディスカッション。「22年前から『まんが甲子園』をスタート、行政が漫画と正面から取組んだ最初の事例では（高知県・尾崎知事）」「昨年は境線の妖怪列車に乗るために、香港から3千人が来た（鳥取県・平井知事）」とその成果をアピール。さらに里中先生は「まんがを通じた海外の方との交流が、相互理解を生むのでは」と、漫画のもつ可能性を示唆しました。



### 【声優トークステージ（1回目）】

両県にゆかりのある人気声優・明坂聡美さん、沖佳苗さん、近藤孝行さん、若林直美さんによるトークセッション。「小さい頃は、山の野イチゴを食べていた（高知県出身の沖さん）」「コンビニには車で行ってた（鳥取県出身の若林さん）」とローカル自慢(?)を繰り広げました。また話のご当地キャラクター自慢にも及び、両県のイメージキャラクターだけでなく鳥取県米子で生まれたヒーロー「ネギマン」や高知名産のカツオをモチーフにした「カツオ人間」にも言及。「私が声優をしたい！」とアピールする場面も。



### 【声優トークステージ（2回目）】

高知県・鳥取県出身の声優、島本須美さん、下田麻美さん、沖佳苗さん、近藤孝行さん、若林直美さんによるトークセッション。声優になったきっかけの他に、熱い「声優論」で盛り上がりました。また下田さんは、岩手県の「じぇじぇ」に対抗し、鳥取県の挨拶を「げげげ」にしたいとアピール。同じく鳥取県出身の近藤さん・若林さんと共に、トークセッション中何度も口にしました。



### 【ご当地アイドルパフォーマンス】

高知県からは、ご当地アイドルの「土佐おもてなし勤王党」と「はちきんガールズ」が、鳥取県からは女性2人組のご当地アイドル「チェリップ」とまんが王国とっとり PR キャラバン隊の「バードプリンセス」が歌やダンスのパフォーマンスを披露。「はちきんガールズ」は、高知県の名産「生姜」をモチーフにした歌で地元をアピール、また昨年、鳥取で行われた国際まんが博を機にデビューした「チェリップ」は秋葉原でも人気で、声援に笑顔で応えました。



高知グルメ  
（四万十の清流で育てた窪川ポーク極上具だくさん豚まん）



鳥取グルメ  
（焼きサバのサバサンド）  
（鳥取県産 焼きイカ）



両県の特産品を  
ご当地アイドルが物販



会場の様子

<メディアの方々のお問い合わせ先：「高知×鳥取 まんが王国会議 in AKIBA」>

株式会社フロンティア・エンタープライズ内 担当/熊谷  
TEL. 03-5565-1121 FAX. 03-5565-1261  
Mail : hisanaga@frontier-e.co.jp